

宇野港フォトコンテスト2013 入賞作品講評

賞名	タイトル	氏名	講評
最優秀賞	大きな船だなあ!	高見 靖子	幼い子供が見上げる先に、船員と思われる人影があり、出航の際に放たれるテープが、その別れを演出しています。構図・トリミング共に申し分ない作品です。さらに、その事を見る側に気づかせるようなタイトルがあれば、より完成度の高い作品になると思います。
優秀賞	記念写真	中原 秀夫	練習船でのひと時をタイミングよく、そして構図的にも完璧に捉えた作品です。左右に展開する若者たちだけではなく、船上からその風景を眺める若者たちを併せて捉える事で、この場の楽しい雰囲気、その歓声と共に伝わってくる素晴らしい作品です。
優秀賞	満船	見藤 哲男	今年は瀬戸内国際芸術祭が開催されたこともあり、普段にも増して多くの観光客が訪れたようです。多くの若者たちがフェリーに乗り込む景色は、期待に満ちた雰囲気を漂わせる作品になっています。
特別賞	環境汚染「ぎょっと」	依田 清	今や宇野港の象徴ともなったオブジェですが、その構造物をアップで捉える事で、作品の趣旨をより印象的に伝えています。
特別賞	宇野港のにぎわい	大塚 和正	産業振興ビルの展望スペースから眺めた風景ですが、その柵をフレーム(額)の様に使って、瀬戸内の美しい風景に映える帆船を捉えています。自然と視線が帆船に向かって行く、フレーミングが効果的な作品です。
特別賞	私達の帽子の方が赤いネ!	守屋 聡	巨船の進水式を見学する小学生が被っている赤い帽子と、船底の赤を対照的に捉えています。それだけではなく、小学生の青いズボンと青空の対比もあり、シンメトリックな構図が印象的な作品です。
特別賞	夕間に輝く日本丸	伊豫 久人	夕景の中に、電飾された日本丸が浮かび上がっている印象的な作品です。撮影された時間帯も十分検討されたもので、海面に浮かび上がる電飾の美しさ、そして背景にあるクレーンの明かりの存在によって、奥行きのある画面となっています。
特別賞	小笠原もよかったけど早くお家へ帰ろう	高城 誉	港にいる猫をメインに、その背景に巨船をボカして配置した作品は、狙いもはっきりしており、そのユニークさと共に印象的な作品となっています。猫に対するピントがあればさらに良い作品になったと思います。
特別賞	港フェスティバルの宵	武下 信夫	宇野港の全景を、印象的な煙突越しに捉え、左右にフェリーと日本丸、上下に空と海、それぞれをシンメトリックに対峙させる構図と撮影のタイミングが素晴らしい作品です。
入選	朝焼けの中の出港	植木 たかし	穏やかな瀬戸内の始まりをタイミングよく、そして印象的に捉えた作品です。人の気配が感じられるとより良い作品になったと思います。
入選	ファミリーの休日	中田 康之	広角レンズの特性を使い、ファミリーの楽しい雰囲気とともに、それを眺める様に佇む帆船のマストを効果的に捉えています。
入選	Unaライブ	井土 宗隆	手の仕事等をタイミングよく捉えており、大きく取り入れられた青空の中に、人物が浮かんでいるような印象になっています。背景に写っているフェリーも巧く取り入れられています。
入選	輝く帆船	平垣 日出男	長時間露光によって浮かび上がった帆船マストと規則正しく並ぶ港の照明が印象的です。
入選	窓の外には	野間 海里	宇野港の街並をフェリーの窓越しに捉えた作品です。フレーム効果で街並が印象的に浮かび上がっています。
入選	別れ	安東 稔	登壇礼(とうしょうれい)のシーンを望遠レンズの圧縮効果を使い、効果的に捉えています。
入選	波のあとさき	見藤 進	出航したフェリーから見た宇野港の全景を、自身が乗っているフェリーと共に捉えており、空間=別れを感じさせています。
入選	海の妖精	景山 人行	帆船の優雅な姿を正面から捉え、マストの重なりが印象的に捉えられています。